

第7章 未来(あす)を見つめたまちづくり 第3節 人材育成・組織体制

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
職員課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R1年度に改善した点 ・年齢要件の緩和により専門職の確保に努めた。 ・市内広報紙を説明会の場で配布することで職場の雰囲気等の情報発信と業務改善に努めた。 ・新たに、公務員予備校主催の説明会へ参加するなど、採用情報に係る発信の機会を増やした。 ・合格者を集めての懇親会を開催し、辞退者防止に努めた。 ・技術職職員との協働により土木職がスターを制作した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	R1年度に改善した点 ・年齢要件の緩和により専門職の確保に努めた。 ・市内広報紙を説明会の場で配布することで職場の雰囲気等の情報発信と業務改善に努めた。 ・新たに、公務員予備校主催の説明会へ参加するなど、採用情報に係る発信の機会を増やした。 ・合格者を集めての懇親会を開催し、辞退者防止に努めた。 ・技術職職員との協働により土木職がスターを制作した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	5. ジェンダー平等を実現しよう	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	3,232千円	2,617千円	採用試験受験申込者数	採用試験受験者数	所沢市が必要とする人材を確保することが目的であること踏まえ、より良い人材を確保するという観点から1次試験の受験者数を指標とした。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	採用試験受験者数	採用試験受験者数	採用試験受験者数									
	地方公務員法第17条、所沢市職員任用規則	2,770千円	2,364千円	採用者数	採用者数	採用者数									
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	職員採用情報を積極的に周知し受験者を募り、第1次～3次試験(筆記、集団討論、面接等)を行い、最終合格者を決定する。行政組織に必要とされる定員を確保するとともに、所沢市が「選ばれる自治体」でありつづけるよう、市民・団体・事業者と協働してまちづくりを推進するために、人と人、人とまちをつなぐ力を持った人材を確保する事を目的としている。	1.55	非常勤特別職 0.00	797人	600人	585人	企業等の人手不足が依然として厳しい状況であり、就職活動においては売り手市場が続いている。特に、専門職の人材確保に苦慮しており、申込者数・受験者数ともに減少傾向にある。中でも、保育士については前年度より大幅な減少となったことから、第3回の試験において年齢要件の緩和などの対策を講じた。目標には及ばなかったものの、即戦力のある優秀な人材を確保することにつながった。								
	職員採用情報を積極的に周知し受験者を募り、第1次～3次試験(筆記、集団討論、面接等)を行い、最終合格者を決定する。行政組織に必要とされる定員を確保するとともに、所沢市が「選ばれる自治体」でありつづけるよう、市民・団体・事業者と協働してまちづくりを推進するために、人と人、人とまちをつなぐ力を持った人材を確保する事を目的としている。	12,989千円	臨時職員 0.00	571人	R元年度目標	R1実績	企業等の人手不足が依然として厳しい状況であり、就職活動においては売り手市場が続いている。特に、専門職の人材確保に苦慮しており、申込者数・受験者数ともに減少傾向にある。中でも、保育士については前年度より大幅な減少となったことから、第3回の試験において年齢要件の緩和などの対策を講じた。目標には及ばなかったものの、即戦力のある優秀な人材を確保することにつながった。								
	期間	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	797人	600人	571人	R2年度目標								
	-	1.80	非常勤特別職 0.00	571人	600人	571人	R2年度目標								
	-	14,962千円	臨時職員 0.00	75人	600人	571人	R2年度目標								
職員課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R1年度に改善した点 新規採用職員を指導するOJT担当職員のスキル向上のため、従来の1日研修に加え、4箇月後のフォローアップ研修を新設した。(OJTフォローアップ研修) 組織的な課題に対応した研修を企画・実施した。(コンプライアンス研修、タイムマネジメント研修等) 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	R1年度に改善した点 新規採用職員を指導するOJT担当職員のスキル向上のため、従来の1日研修に加え、4箇月後のフォローアップ研修を新設した。(OJTフォローアップ研修) 組織的な課題に対応した研修を企画・実施した。(コンプライアンス研修、タイムマネジメント研修等) 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	8. 働きがいも経済成長も	どのように貢献したか		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	7,534千円	6,897千円	研修の実施日数	職員の研修受講率(全職員数に対し、職員の研修受講延べ人数の割合)	研修受講率の向上により、成長する職員が増えるほか、学習する組織風土の醸成にも繋がるものと考えため、研修の受講率を指標としている。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	研修の実施日数	職員の研修受講率(全職員数に対し、職員の研修受講延べ人数の割合)	研修受講率の向上により、成長する職員が増えるほか、学習する組織風土の醸成にも繋がるものと考えため、研修の受講率を指標としている。									
	地方公務員法第39条	7,219千円	6,330千円	研修の実施日数	職員の研修受講率(全職員数に対し、職員の研修受講延べ人数の割合)	研修受講率の向上により、成長する職員が増えるほか、学習する組織風土の醸成にも繋がるものと考えため、研修の受講率を指標としている。									
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	市民のために創意工夫し自ら考え動き、また、組織にとって有用な人材を育成・支援することを目的に、「人材育成基本方針」、「職員研修計画」に則り、職員研修を実施する。	1.90	非常勤特別職 0.00	320	78.0%	88.4%	R1目標値が未達成の理由・分析								
	市民のために創意工夫し自ら考え動き、また、組織にとって有用な人材を育成・支援することを目的に、「人材育成基本方針」、「職員研修計画」に則り、職員研修を実施する。	15,922千円	臨時職員 0.00	2,179人	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	期間	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	2,179人	80.0%	106.9%	R2年度目標								
	-	1.75	非常勤特別職 0.00	109人	100%以上	106.9%	R2年度目標								
	-	14,546千円	臨時職員 0.00	109人	100%以上	106.9%	R2年度目標								
職員課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R1年度に改善した点 相談者の急なキャンセルがあった場合、保健師が直接声掛けをして、普段利用していない職員にも利用してもらい、事業の周知を図った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	R1年度に改善した点 相談者の急なキャンセルがあった場合、保健師が直接声掛けをして、普段利用していない職員にも利用してもらい、事業の周知を図った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	1,320千円	1,320千円	実施回数	実施回数(月3回 x 12か月)	職員が相談しやすい環境を整備しておく必要があることから、「こころの健康相談」の年間実施回数とした。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	実施回数	実施回数(月3回 x 12か月)	職員が相談しやすい環境を整備しておく必要があることから、「こころの健康相談」の年間実施回数とした。									
	所沢市こころの健康相談員設置要綱	1,320千円	1,320千円	相談者数(延べ人数)	相談者数(延べ人数)	相談者数(延べ人数)									
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	職員の心身の健康の保持・増進のため、精神科医1名及び精神保健福祉士2名に委嘱し、「こころの健康相談」を実施する(月3回)。相談を希望する場合には、職員課の保健師が予約の窓口となり、電話や専用のメール等で受付をしている。	0.32	非常勤特別職 0.00	36回	36回	36回	R1目標値が未達成の理由・分析								
	職員の心身の健康の保持・増進のため、精神科医1名及び精神保健福祉士2名に委嘱し、「こころの健康相談」を実施する(月3回)。相談を希望する場合には、職員課の保健師が予約の窓口となり、電話や専用のメール等で受付をしている。	2,682千円	臨時職員 0.00	36回	R元年度目標	R1実績	R1目標値が未達成の理由・分析								
	期間	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	36回	36回	36回	R2年度目標								
	H12年度-	0.32	非常勤特別職 0.00	90人	36回	36回	R2年度目標								
	-	2,660千円	臨時職員 0.00	90人	36回	36回	R2年度目標								

